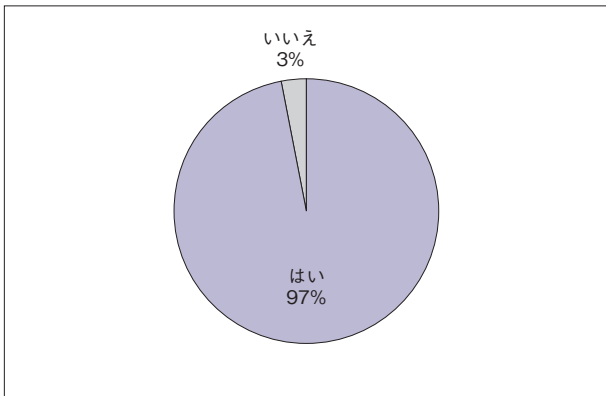


『日本語教育通信』 継続送付希望アンケート集計結果

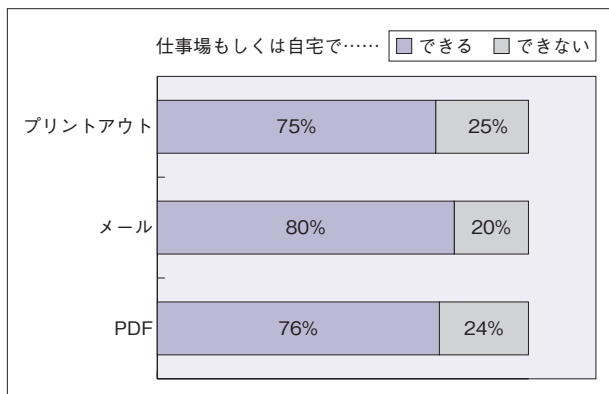
『日本語教育通信』編集部が2006年（54号～56号）に実施した継続送付希望アンケートには、2593件の回答（回答率20.2%）をいただきました。その集計結果の概要を報告いたします。

1. 引き続き『日本語教育通信』の郵送を希望しますか。



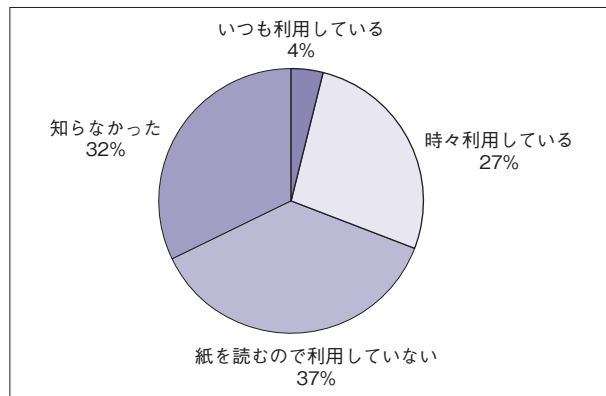
97%が「はい」と回答し、引き続き郵送を希望しました。郵送を続ける場合は必ずアンケートに回答しなければならなかったため、圧倒的に郵送を希望する読者からの回答が多かったようです。

2. 仕事場もしくは自宅でのインターネットの接続状況(アクセス)について



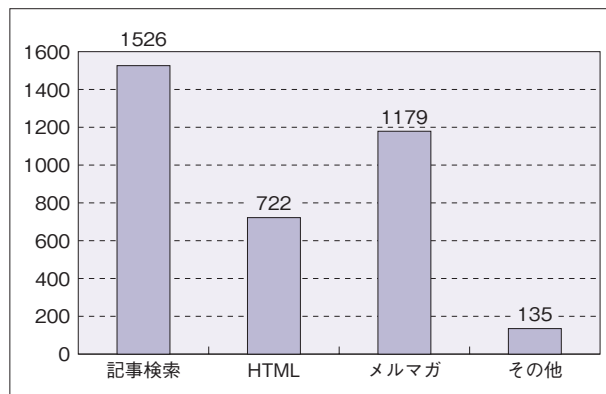
それぞれ「できる」の回答が全体の4分の3以上でした。インターネットが世界的に広がっているのがわかります。一方で、インターネット環境がまだ整っていない読者に不便を強いることがないように、郵送を続けたいと考えています。

3. 『日本語教育通信』のPDFを利用したことはありますか。



「紙を読むので利用していない」の回答が37%、「知らなかった」の回答は32%もあり、合わせて約7割がPDFを利用していませんでした。今後はもっと多くの読者に利用されるよう、努力していきたいと考えています。

4. インターネットの『日本語教育通信』で、あれ使いたいと思う項目は何ですか(複数回答可)。



「バックナンバーの記事検索」機能を望む声が一番多いことがわかりました。上記三つの項目を含め、今回は『日本語教育通信』へのご意見・ご要望をいただいたので、今後の検討材料とさせていただきます。

★ 今後の発行形態について ★

『日本語教育通信』は、これまで海外で日本語教育を行っている機関と日本語国際センター、関西国際センターで研修した個人（希望者）に無料で郵送していましたが、2007年からは今回のアンケートに回答し、継続送付を希望した読者のみへの郵送とし、それ以外の読者にはウェブサイトの『日本語教育通信』をご利用いただくことになりました。これからはアンケートでいただいたご意見を踏まえ、ウェブサイト限定記事の他にもさまざまな機能を追加し、より使いやすいウェブサイト作りに取り組んでいきます。読者の皆様には、今後とも率直なご意見やご指導をよろしくお願いいたします。アンケートへのご協力、どうもありがとうございました。